

「リヴァプールー海商都市」(英国)の世界遺産一覧表からの抹消

- (1)登録年:2004年
- (2)抹消年:2021年(危機遺産リスト記載年:2012年)
- (3)登録基準:(i)(iii)(iv)
- (4)概要

リヴァプールの歴史地区と埠頭は、18～19世紀の産業革命で栄えた商業都市の姿を今に伝える。大英帝国の発展に際して重要な役割を果たし、ヨーロッパからアメリカへと大規模移動する奴隷や移民の中継地であった。また、今日の船渠技術や港湾管理技術、輸送システムもリヴァプールで発展し、さまざまな商業施設や公共建築物がある。

(5)抹消の経緯

リヴァプール・ウォーターズ事業(※)等の開発により、資産の完全性及び真実性が脅威にさらされることを受け、世界遺産委員会は「危機遺産解除のための望ましい保全状況」の採択や新たな建設の停止を要請していた。

しかしながら、当該事業も含め、資産や緩衝地帯で大規模インフラ事業が継続され、更には新たなサッカースタジアム建設が承認されたことから、長期的に資産のOUV等を保護する法的手段等を締約国が持たないと世界遺産委員会が判断し、登録を抹消することを決定した。

リヴァプール・ウォーターズ事業(※)

※資産範囲や緩衝地帯における住宅、オフィス、高層ビルの建設を含む大規模民間開発計画



写真の出典:ユネスコHP